

## 第141回京都 CSR 研究会ご案内の件

京都CSR研究会メンバー各位

2016年10月13日  
京都CSR研究会事務局

前略。寒露の季節に入り、さすがに肌寒くなってまいりましたが、皆様お元気のことと存じます。さて、前回の研究会では、コカ・コーラウエスト㈱の稲川晶子さまにお越しいただいて、今後、同社がいかにかにいわゆるSDGs(国連・2030年持続可能な開発目標)に呼応して、その達成に向かうべきかの意欲的な考え方をお示しいただきました。具体的には、その第一ステップとして、SDGsの掲げる17の目標(169の目的)と同社の業務がどのように関連するのかを全領域に亘って洗い出し、その鳥瞰図をしめしてわかりやすくご説明を頂きました。あいにく当日はご出席者が10人を切っておりましたが、きわめて示唆にとんだCSR経営の方向性を示していただいたものと思料いたしております。

さて、今月の研究会では、京都CSR推進協議会会長の明致親吾様より、中堅中小企業のCSR経営をさらに進化させるためにはどのようなことが課題となるか、特に、その過程において果たしうる中間団体の役割について、お話を伺う予定です。企業にとってのCSR経営とは本来はミッションの深堀り作業から始めなければ、浸透はむづかしく、また、その深堀り意識は、同業他社もしくは同規模他社相互の励ましあいや相互学習の中から、派生的に出てくるものと考えられます。この意味で、中間団体の持つメンバーに対する暗黙の拘束力と影響力はCSRの浸透においては、計り知れないものがあると考えられます。法律ではなく、あくまで自発的な合意としてのCSRの普及について、皆様のお知恵をお待ちします。詳細は下記のとおりですのでふるってご参加ください。

敬具

### 記

1. 日時：2016年10月28日(金) 18時半～
2. 場所：京都キャンパスプラザ2階第二会議室
3. メインテーマ：  
「CSR経営の普及について～京都CSR推進協議会の立場から」(仮)
4. スピーカー：明致親吾様  
京都CSR推進協議会 会長、元オムロン㈱取締役副社長
5. なお、本研究会は飲食持ち込み可能なブラウンバッグ方式としております。また受付にて運営費としてワンコイン参加費500円を頂戴しておりますのでご了承ください。

以上